



2018年3月7日

各 位

## 日本イットリウム、半導体製造装置向け保護材料の 生産体制増強

～ イットリウム化合物の生産能力を約2.5倍へ ～

当社（代表取締役社長：西田計治）と株式会社トーキン（代表取締役社長：小山茂典）の子会社である日本イットリウム株式会社（代表取締役社長：堂本幸輝、以下NYC）は、半導体製造装置向け保護材料の生産能力を約2.5倍に増強することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

NYCは、国内でいち早く高純度レアアース製品の量産化を実現したレアアースのリーディングカンパニーであり、半導体などに使用されるレアアースの製造・販売を行っています。

半導体市場は、IoTやスマートフォン、自動車のADAS化等の旺盛な需要を受けて大幅に成長しており、今後もその傾向は続く見込まれています。

また、半導体の更なる微細・高集積化、高生産化を実現するために、コンタミネーション（塵埃や汚染物質などの異物・不純物）の低減が強く求められており、保護材料は酸化物系からフッ化物系のイットリウムへ研究・開発がシフトしつつあります。

このような需要に対応すべく、NYCでは長年培ってきたレアアースの知見を活かし、保護材料としてイットリウムのフッ化物およびオキシフッ化物を開発・上市しており、今後の半導体市場の需要拡大を見据え、2018年下期には現在の約2.5倍に段階的な設備増強を実施する予定です。

三井金属グループのスローガンである「マテリアルの知恵を活かす」のもと、半世紀にわたり積み上げてきたレアアースのノウハウを活かし、お客様のニーズに応える開発とともに、安定した品質と十分な供給を確保してまいります。

以 上

### 【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 広報部 TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029

Eメール [PR@mitsui-kinzoku.co.jp](mailto:PR@mitsui-kinzoku.co.jp)

【ご参考】

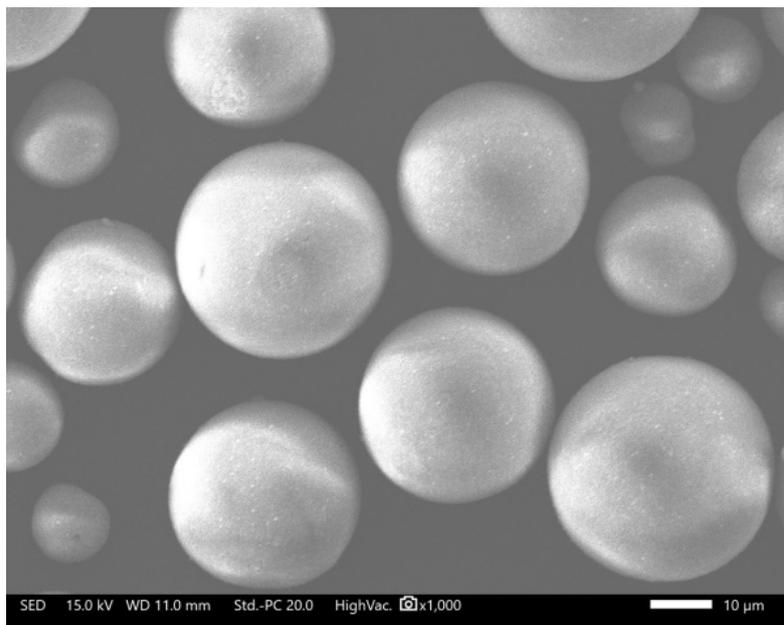


写真 保護材料(フッ化物系イットリウム)の SEM 像

【日本イットリウム株式会社の概要】

- (1) 本社 : 福岡県大牟田市
- (2) 設立 : 1966 年 4 月
- (3) 資本金／当社保有比率 : 400 百万円／当社 70%、株式会社トーキン 30%
- (4) 従業員数 : 77 名 (2017 年 12 月現在)
- (5) 事業内容 : レアアースの製造・販売